

令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立 春日出

小学校

児童数

48

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.56	20.69	35.53	38.94	37.84	9.04	145.50	20.61	52.84
大阪市	16.11	18.48	32.94	37.73	42.24	9.50	147.79	20.23	50.79
全国	16.22	18.90	33.48	40.35	46.83	9.45	151.41	20.58	52.52
女子	16.75	17.38	42.19	36.13	26.40	9.69	130.00	11.06	50.62
大阪市	16.00	17.64	37.71	36.25	34.55	9.70	140.60	12.84	52.81
全国	16.09	18.08	37.90	38.72	38.15	9.64	145.18	13.30	54.64

結果の概要

体力合計点で男子は、全国平均を0.32ポイント上回り、大阪市平均を2.05ポイント上回った。女子は、全国平均を4.02ポイント下回り、大阪市平均を2.19ポイント下回った。前回と比べて、女子は全国平均、大阪市平均ともに下降している。

「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答においては、男子の肯定的回答が全国平均・大阪市平均を5～6％上回っている。女子の肯定的回答では、全国平均・大阪市平均よりも約10％ほど下回っていた。また、一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は全国平均・大阪市平均よりも約10％上回り、女子は全国平均・大阪市平均よりも約20％ほど上回るといった結果だった。

測定種目別にみると、男子は上体起こし、長座体前屈、50m走、ソフトボール投げで全国平均・大阪市平均を上回っている。しかし、20mシャトルラン、立ち幅跳びにおいては、全国平均・大阪市平均よりも大きく下回っている。また、女子の結果では握力、長座体前屈においては、全国平均・大阪市平均よりも上回っていた。男子の記録同様に20mシャトルラン、立ち幅跳びにおいては、全国平均・大阪市平均よりも大きく下回る結果となった。この結果から「持久力」「跳ぶ」力に課題があると考えている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、「跳ぶ」力の向上に重点を置き、教員の研修を取り入れたり、リズムなわとびやジャンピングボードを設置して、体力づくりに取り組んできた。また、ジャンピングボードを活用し、「ジャンプタッチ選手権」として、委員会の児童を中心に啓発活動に取り組んできた。また記録をランキング形式で掲示し、子どもたちが興味をもって取り組めるよう工夫してきた。男女ともに「跳ぶ」力に課題があるため、今後も引き続きこの活動を継続していく。校舎の改修工事もあり、今年度はなかなか運動に取り組む機会も少なかった。その影響が少なからず結果に反映されてることも考えられる。今後は、改修工事でも終わり運動場も広く使えるようになる為、運動の機会を増やすとともに、引き続きジャンピングボードの活用やなわとびでの体力づくりに取り組み「跳ぶ」力の向上や体力づくりに努める。